

皮膚及び歯肉に多発性血管過誤腫がみられた 牛の若年性血管腫症の1例

寺 山 好 美^{1)†}早 島 彬 美²⁾

1) 長崎県中央家畜保健衛生所 (〒854-0063 諫早市貝津町 3118)

2) 長崎県県南家畜保健衛生所 (〒859-1415 島原市有明町大三東戊 908-1)

(2025 年 2 月 28 日受付・2025 年 5 月 12 日受理・2025 年 9 月 30 日公開)



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/78/9/78_e119/_article/-char/ja

要 約

出生時から右後肢足根部が腫脹していた交雑種の子牛に、2 カ月齢時、同部並びに口腔内に複数の腫瘍が確認されたため病性鑑定に供した。腫瘍は皮膚並びに歯肉に形成され、直径 0.5～3 cm と大きさはさまざまで断面は乳白色で水腫調を呈していた。病理組織学的検査では、一層の内皮細胞で構成される大小の血管が多数増生し、内皮細胞の核は腫大していたが異型性や有糸分裂像は認められなかった。間質では粘液と少量の膠原線維が確認された。それぞれの腫瘍は血管過誤腫と同一の病理組織学的特徴を有しており、かつ複数箇所形成されていたことから、本症例は牛の若年性血管腫症と診断された。本症例は国内で初めて確認された牛の若年性血管腫症である。

——キーワード：牛の若年性血管腫症，牛，血管過誤腫。

----- 日獣会誌 78, e119～e124 (2025)